

20扶土第 560 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

丹羽郡扶桑町長 江戸 満



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

このことについて、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

愛知県扶桑町

費用対効果を最優先し、交通安全施設の充実・渋滞の解消を目標にして、必要な部分に必要な予算を重点配布することが必要と考える。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

愛知県扶桑町

○現状

扶桑町内にある基幹道路は、国道41号線、主要地方道一宮犬山線、一般県道草井羽黒線の3路線である。いずれの路線も慢性的な渋滞で、日常生活にも支障をもたらしている。

一方、その他の幹線道路は、重車両の通過による路面損傷、幅員不足から歩車道を分離することができないため、危険と隣り合わせにある。また、鉄道との平面交差や右折車による交通渋滞など、劣悪な交通事情である。

○課題

当面の課題としては、重車両により痛んだ舗装の補修であるが、限られた財源の中では舗装補修も満足に行うことはできないため、国は、補修に関する補助メニューを新設し、維持管理の充実を図る必要がある。

ライフスタイルの変化で自転車利用者が増加したことにより、道路利用が多様化してきているが、対応が困難である。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

愛知県扶桑町

新愛岐大橋や名濃道路などの基幹道路を整備し、幹線道路と生活道路とを分けて道路網の整備を行い、快適な生活環境を確保保全する。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

愛知県扶桑町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	新愛岐大橋・名濃道路の整備	愛知県と岐阜県との結びつきが強化され、その間に位置する扶桑町は、交流の拠点として、発展していくと考えられる。	
・生活環境の保全	幹線道路と生活道路の分離や交通安全施設の整備。道路緑化や適正な維持管理	安全で快適な生活環境を保全し、快適な居住空間を提供する。	